

# PIP

Vol. 4

# ETTS



川崎医療短期大学同窓会（松丘会）  
臨床検査科支部会誌

やつ  
やっとうました!

第4号

# Contents

- Page 4 "ヒポクラテスの誓い"によせて  
.....山口 司
- 6 臨床検査技師としての自覚  
.....徳永 達文
- 7 今日此頃.....佐藤 彰一

## ...各期卒業生より...

- |         |                     |       |
|---------|---------------------|-------|
| 1期生 8   | 乗って残そう若桜線.....      | 植島しのぶ |
|         | 遙かなる夢.....          | 光野 明子 |
| 2期生 9   | 2足のわらじ.....         | 青井 里美 |
|         | 瀬戸の花嫁.....          | 山根由利恵 |
| 3期生 10  | 近況報告.....           | 須江いずみ |
|         | 十年一昔.....           | 山本 明美 |
| 4期生 11  | 再確認"川崎卒"の重み.....    | 原田 典子 |
|         | 覚えてますか?白金耳の焼き方..... | 瀬島 知子 |
| 5期生 12  | 体にいいことしてますか?.....   | 宇野 二郎 |
|         | ああ、原稿が書けない.....     | 西林 昌弘 |
| 6期生 13  | ノンフィクション.....       | 山下 和良 |
|         | 新しい人生をスタートして.....   | 水野 陸美 |
| 7期生 14  | ナカさん、おめでと〜う!.....   | 八木 永  |
|         | 卒業して 4年目.....       | 山本 英輝 |
| 8期生 15  | "BASICってなに!?".....  | 仲野 弘美 |
|         | 独身生活にサヨナラする時.....   | 花澤やす江 |
|         | 只今恋愛中!?".....       | 佐野多都子 |
| 9期生 16  | ミナサマ、オゲンキデスカ.....   | 三宅みどり |
|         | 帆を揚げて.....          | 小松 百合 |
| 10期生 17 | "言いたい放題".....       | 門田 渉  |
|         | 私の近況.....           | 佐藤 悦子 |
| 18~22   | KASS NEWS           |       |
| 23      | 編集部より               |       |

8期\*花澤さん

うふっ♡ し.あ.わ.せ

10期\*門田くん

やっほー☆

6期\*山下くん

あかりちゃん

子供って かわいい

1期\*しのぶさん

ちひろちゃん

7期\*山本さん

私たちだって そのうちね!

5期\*西林さん

10期\*えーちゃん

2期\*山根さん

ゆたしに 彼たのヨ

9期\*みどりちゃん

3期\*須江さん

8期\*中野さん

7期\*はるか

2期\*青井さん

さきちゃん かわいい

8期\*佐野ちゃん

6期\*いのちゃん

おじさんも グランコに 乗りたいなあ

5期\*うーさん

4期\*瀬島さん

みなさん お元氣?

3期\*山本さん

太平洋黒澤甲 野球団

4期\*むかしは藤田さん

1期\*あつこさん

## “ヒポクラテスの誓い”によせて

川崎医療短期大学臨床検査科  
教授 山口 司

川崎医療短期大学臨床検査科では、今年も新たに、13期生として66名を迎え入れました。高卒者が丙午生れとか、新課程に沿って入試も数学が加えられたため、受験生が激減するのではないかと考えていましたが結果的には、例年よりやや多い66名が本学を選んで入学して来たということであり、上田主任教授以下スタッフ一同張り切っています。

臨床検査科も13年目を迎え、一部の教科書が従来の“赤本”から新臨床検査技師講座“青本”に変わりました。臨床検査総論もその一つです。その中に“ヒポクラテスの誓詞”がとりあげられています。

医学生教育では、ヒポクラテスの誓詞、看護学生教育では、ナイチンゲールの誓詞が教えられています。臨床検査技師の教科書には殆どみられなかったのではないのでしょうか。

### ヒポクラテスの誓詞

- 医業に携わることを許されたからには全生涯を人道のために捧げる
- 良心と威厳をもって医を实践する
- 患者の健康と生命とが第一の関心事である
- 患者の打ち明けるすべての秘密を厳守し医業の名誉と尊い伝統とを保持し同僚を兄弟とみなし人種宗教国籍政党政派および社会的地位の如何によって患者を差別待遇しない
- 人間の生命をその受胎の初めから至上のものとして尊敬する
- 如何なる強圧に遭うとも人道に反した目的のために吾が知識を悪用しない

以上は自由意志によりまた名誉にかけて誓うものである

### ヒポクラテス

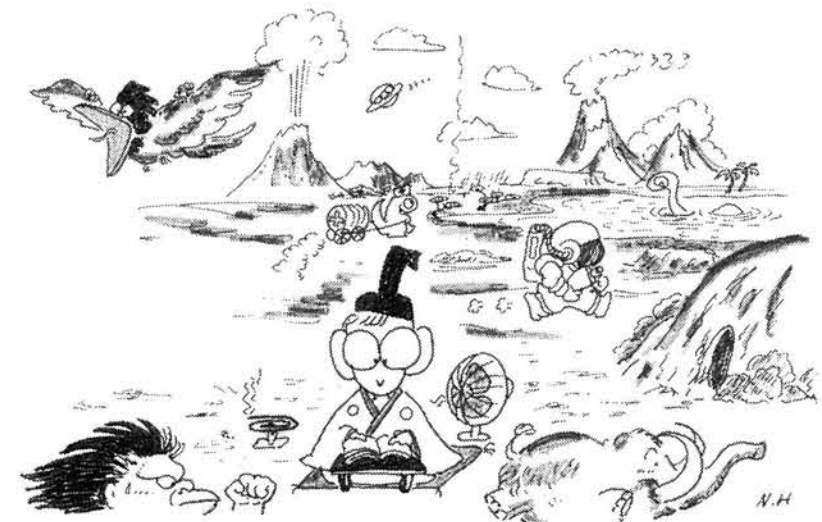
人の健康、生命をあずかる医療チームとしての仕事は、常に緊急性をもっているのだという事はよく理解しているつもりです。ところが、帰宅してくつろいだころに呼出しがあったり、日直でもないのに休日に呼出されたりすると、つい返事が鈍る。上述の誓詞に“全生涯を……”とあります。文字通り全生涯であると同時に、定められた勤務時間以外の自分の時間でも仕事すなわち、医のために使わなければならないこともあります。もちろん代休も、時間外手当も必要ですが、だからといって医の尊さ、生命の大切さという大前提から目を背けることは、医療従事者として許されないことでしょう。

“良心と威厳をもって…”とは、例えば、検査結果を都合のよい値に変えたり、実施していない検査の結果を捏造したりすることは論外だとしても、急ぐため自分では不完全だと思いながら確めなかったり、疑いながら再検しなかったりなど、いいかげんな報告をすることは許されません。

“患者の健康と生命とが…” 医療チームの一員たる臨床検査技師も、患者の健康と生命に深い関心を持ち、それを何よりも優先させる。私的な予定や計画があってもそれを後回しにするという心構えを持ち、それを実行しなければ医療チームの一員とはいえません。

その他についても、私達一人一人が自らの意志によって、すすんで臨床検査技師となったのですから、医療従事者の一員としてこれらのことを社会に対し誓うというものです。

最近の医療情勢は非常に厳しいものがあります。また、科学技術の著しい進歩と共に、臨床検査技師のあり方、その将来が大きく問われている時期であり、川崎医療短大の卒業生として、急激に変化しつづける医療の現場にあってそのことを痛切に感じておられる方も多いと思います。そのために絶えず新しい知識技術を学びとると同時に、至急検査の充実、病棟採血、ベッドサイド検査の拡充、それらの機器整備、検査のための患者オリエンテーション等々、積極的に取り組んでいかなければならないでしょう。患者さんと接する機会も一層多くなります。一度ゆっくりと“ヒポクラテスの誓詞”を味読することをおすすめします。



## 臨床検査技師としての自覚

川崎医科大学附属川崎病院中央検査部  
技師長 徳永達文

われわれは、患者の病態情報をより速く正確に臨床医に報告する事を責務とする臨床検査を選び、現在に至ったわけであるが、ここで二つの大きな問題点を考える必要がある。その一つは、患者さんの早期治療のためデータ解析する“考える臨床検査技師”でありたいと思う。その一例は、検査の測定後臨床医にデータをただちに返すのみでなくそのデータからのいろいろな情報を解析して、もし異常データがでた場合には即刻測定時の異常であるか、病的な異常であるかを判断する能力が必要である。その為には、臨床医とのコミュニケーションも必要ではなかろうか。また、検査をする時の一例として出血傾向の検査をする時に臨床症状をみて、採血する場合に患者の、上腕部分に点状出血を認めれば、血小板数の減少か、血小板の機能障害があるかまたは、血管壁の異常を疑い、また小規模の紫斑を認めれば、血液凝固因子の欠乏または、肝疾患ではなかろうか。次に広範囲の紫斑を認めれば、線維素溶解酵素の亢進を疑い、更らに男性で足の不自由な人であれば、血友病を疑うだけの、観察力が必要ではなかろうか。もう一つの問題点は、最近検体数の少ない特殊検査を、外注する多くの病院があるが、中でも財政的理由で設備に投資する事なく、外注推進をはかるだろう。しかしそこで考えなければならない事は、多くの検査項目を院内処理して、患者の早期診断、早期治療につながるよう臨床検査技師として自覚、努力する必要がある。ましてや、厳しい昨今の状況化での各施設での定員増は困難であり、検体数の増加を考慮すれば、現有の自動分析機のコンピューター化による高能率、高経済効率をはかるよう努力する必要がある。以上のことから、わたくしのいいたい事は、外注検査に頼らず、院内処理する事の大切さを理解し、又、コンピューター化で機械に使われない臨床検査技師を目ざし、日夜学術向上を計るべきである。

——と、いろいろ難しいお言葉を頂いた徳永先生も、実は、新婚生活一年に満たないの  
であります。先生、末永くお幸せに！——



## 今日此頃

川崎医療短期大学臨床検査科  
助教授 佐藤彰一

川崎医療短期大学の名前を知ってから、はや十余年が過ぎようとしている。私が現在の短大の講師控室で就職のための面接を受けたときには、学内はガランとして学生の姿を見ることはほとんどなかった。面接の内容は今でもよく覚えているが、中でも印象に残ったことは、面接中幾人かの学生が面接委員の一人であられた柴田先生を尋ねて研究の話をしていただたことであった。私が学んだ大学では、現在ではそうでもないらしいが、一年生が教授と話をすることは恐れ多いことといった風潮があり、滅多なことで話をする機会などなかった。その当時としていえば当短大の先生と学生の間は良い意味で非常に接近していると感じたものである。

その後、短大に就職し、まず驚いたことは女性の数の多さである。学生の大半また職員の多くが女性という所は、それまで十人に一人程度女性がいれば良いほうという環境にあった私としては大変な所へ来たものだといった感があった。このことは病院内を案内された時再認識させられた。このような状態で短大の講義を始めたため、本当にあがりっぱなしであった。しかし、馴れというもの恐ろしいもので、3ヶ月程度で段々に当り前と思ふようになり、今ではそのようなことを全然感じていない自分に驚いている。

また、講義は、出来るだけ多くのことを教えようと私の意気込みのみ先走りしており、学生諸君のことを十分考えずに行っていたように思う。たどたどしい講義ではあったが学生諸君は良く聞いてくれた。居眠りをする学生もいない訳ではないが、当時の実習の厳しさを考えれば無理からぬ所であった。しかし学生は決して恵まれているとは言い難い状況にありながら立派に成長してくれた。国家試験もその一つであろうが、学生一人一人の集中力と各学生が自分の役割をわきまえたチームワークにその源があったように思えてならない。

それから担任として二度卒業生を送り出してきた。現在は三回目の担任をやっているが泥まみれになりながらも前向きの姿勢を持ち続けてきた卒業生のことを思う今日此頃である。



## 乗って残そう若桜線

第1期生 植島しのぶ(旧姓 山元)

若桜線は、鳥取と津山を結ぶ因美線から枝分かれして、姫路側へ南東へ走る廃止寸前のローカル線です。その終着駅が若桜。今度の私達の巣穴はここに 있습니다。若桜駅に桜が咲きみだれる頃、生まれたばかりの赤ん坊を抱いて、エッチラオッチラと引越して参りました。なつかしい倉敷をあとに……。

おかげで、全国で最も人口の少ない鳥取県は3人も人口が増えるし、ダンナはせっせと若桜線を利用して病院に出勤するし、わが子“ちひろ”はべっぴんさんで末はミスユニバースに出場できそうだし、よかったことですね。鳥取県知事さん!!

ところで、愛娘ちひろを御紹介いたしましょう。一期生の皆様にはおくれませながら、今年の2・26事件の日、初めて女の子を出産しました。それはそれはかわいい、子ブタのような娘です。ちょっと見た目は、とても女の子とは思えないという方もいらっしゃると思いますが、ピンクのおべべを着せれば、とても以合うんです。ちひろは、この山奥の田舎で、野ブタか、はたまた、杉の木の間をかけぬけるターザンのように、のびのびと育っていくでしょう。

そして、新米母さんは、この4月で9年と1ヵ月の川崎学園勤務に終止符をうち、毎日子供とたわむれております。

さて、みな様、氷の山スキー場を御存知でしょうか。ここはそのスキー場のふもとです。お気軽に我家へ遊びにいらっしやませ。ただし、お越しの際には必ず、若桜線を御利用下さいませよう、御協力願います。

それでは、ごきげんよう!

(1985. 5. 16)

## 遙かなる夢

第1期生 光野 明子(旧姓 村田)

風薫る五月、山々にはまだ残雪が見られ、庭の桜は今を盛りと咲いている。シーズン中のペンションは、活気があるが、今はひっそりと立たずんでいる。木々の間からもれる陽の中で、1才6ヵ月の“あずみ”は、子犬と戯れ、4ヵ月の“陽一”はゆりかごで眠っている。私は庭の白いベンチに腰掛けてこれを書いている。主人は、といえば、ベランダに出てスキーを磨いている。板はステンマルクもはいているというエラン。

時々ふくみ笑いをしているのは、2月に八方で行なわれた、リーゼンストラローム大会での大転倒を思い出しているのかもしれない。それをぼんやり眺めているうちに、カアカア(お母さん)という声で振り向くと、スプーンを片手に口の回りをプリンでベトベトにしたあずみが立っていた。そしてそこは、四帖半の狭い室だった。

ああ、遙かなる夢かな……

(1985. 5. 9)



## 2足のわらじ

赤磐郡医師会病院  
第2期生 青井 里美(旧姓 有吉)

若葉の緑が目にしみるこの頃です。この若葉を見るたびに、川短での生活を思い出します。卒業してはや、9年という年月が過ぎ、現在、2足のわらじで、輝く若葉をみつめながら、歩いています。1足目のわらじは、私は、現在、赤磐郡医師会病院に勤務しております。当病院は、ベット数120床、検査技師5名(このうち3名が川短卒業生)です。この5名で、生化学・血液・一般・細菌・血清・生理検査を行なっています。大きな病院の様に、それぞれの部門に分かれていないので、今日は心電図、明日は生化学という様にどんな検査もマスターしておかなければなりません。したがって 毎日が、まるで運動会のご様子です。

もう1足のわらじですが、私は結婚して、4年が過ぎました。現在1児(男の子)の母親でもあります。今年の4月に保育園の入園式を迎え、主人共々、喜んでおります。入園して1ヵ月が過ぎようとしています、わが子の成長ぶりには、驚かされるばかりです。仕事から帰って、子供の顔を見るのが、楽しみの1つであり、子供との会話が、疲労を、いやしてくれる何よりの良薬です。

現在、私はこの2足のわらじで頑張っていますが、この2足のわらじを助けてくれるものがあります。短大で身につけた厳しさです。それはまだ心の中にずっと根強く残っていますし、まだこれから先、確かに、残っていくと思います。それと同時に、今現在は、全国にばらばらになっていますが、共に苦勞した2期生の方々の思い出が、2足のわらじのささえとして、私の心の中にあります。このささえを大切に、歩んでいこうと思っています。

(1985. 5. 1)

## 瀬戸の花嫁

第2期生 山根由利恵(旧姓 岩本)

キャリアウーマンをめざしていた私が、決断して退職。結婚、専業主婦となって約4年経ちます。そして現在3才の男児と1才の女児に恵まれました。家事に育事に忙しい毎日ですが、それなりに充実した日々を過ごしております。

居所は、広島県の海軍兵学校(自衛隊)で有名な江田島町の隣町です。瀬戸内海で一番大きな島で、みかん狩、魚釣、海水浴、潮干狩り等、自然に恵まれています。又、広島市にはフェリーボートで、呉市には橋を2つ渡って出掛けることが出来ます。

ところで、専業主婦の私の生活は、6時起床、7時に主人を送り出し、2人の子供と朝食、洗濯をしながら2人を外で遊ばせながらそうじ、一通り終われば11時。買物に散歩して行けばもう12時。昼食の後片付をしながら下の子をおんぶして昼寝させます。上の子と少し遊ぶとこの子も昼寝。静かなこの時間が唯一、私の自由時間。読書?!それとも洋裁? いや新聞だけは欠かさず読んでおこう。そして洗濯物をたたんで、夕飯の仕度を始めよう……。そうこうする間に子供達が起きてきて、オヤツ。遊ばせながら夕飯作り。7時に夕飯、入浴、子供を9時に寝かせながら、私も眠るのが得意です。主人の帰宅時間は、様々なので、子供はなるべく規則正しい生活をするように努力しています。

ここで私からの提案があります。車の免許は、取れる時期にとっておいた方がいいですよ。何の免許でも長い人生、何処で役に立つかわかりません。

そして、車に慣れた方、たまには、歩いてみませんか。車で通ると、意外とわき見運転をしていないものですね。野の花が季節に応じて咲きほころんでいるのを知らずに通過ぎていきます。そろそろ子供連れでハイキングをしましょうか。是非一緒に出掛けましょう。島へ遊びに来て下さい。

(1985. 6. 3)

## 近況報告

津山医師会検査センター  
第3期生 須江いずみ(旧姓 渡辺)

カーテンのすき間から、まぶしい太陽が、朝を告げる。穏やかな春の朝日でゆっくりと目をさます。ベットの中で今日1日何をして暇をつぶそうかと考えること数分、結論も出ないまま起き上がり、冷蔵庫からトマトジュースを出して一気に飲む。

ショッピングも飽きたし、本を読むには天気が良すぎる。オートバイでも飛ばして海でも見に行くか!!そう決めたら、片手にフランスパン、片手にカフェ・オレの入ったモーニングカップを持ちすばやく朝食をとる。……といった朝は私には縁がなかったようである。

現実には厳しく『アッ!!また寝すぎた——この目ざまし時計壊れてるんじゃないの……』いつもの朝である。

電気水飯器はタイマーをセットしているからご飯は炊けているものの、食事の仕度、洗濯と、どうして女の仕事なんだろうと思うことしばしば……小学校から現在に至るまで、8時30分という時間のために、どれほどしんどい目に合ったやら、それなのにどうして目が覚めないのか、不思議でもあるが、なんとか今までやって来た。

女性が仕事と家庭を両立させることの難しさを最近ヒシヒシと感じて来た。時代の流れの為か、私の職場も朝8時30分から夜の8時までの営業時間となり、なかなか現実には厳しいものとなってきました。

卒業して7年、毎日は走馬燈のようでも、1年1年をふり返ってみれば、ずい分変化しているように思います。

そんな毎日の中で大切な健康と供に“まごころ”とか“やすらぎ”といった心の健康をポケットに忍ばせて、そして、17才の乙女の夢と百歳の老婆のあきらめを背中合わせに持って、明日も頑張っていきたいものです。

川崎医療短大の発展と同窓生の皆さんの健康を祈りつつペンをおきます。

(1985. 5. 4)

## 十年一昔

豊橋市民病院  
第3期生 山本 明美

十年一昔とよく言われますが、故郷(愛知)を離れ、初めて岡山の地に足を踏み入れたのが、ちょうど一昔前となり、卒業後、ひたすら(?)医療の道を歩んで現在に至ると、なんともはやいものだと感慨にふけてしまいます。そんな折、思いがけず、電話の向こうから懐かしい声、とても嬉しかったと同時に、原稿を依頼され、困ってしまいました。報告できるような目立った変化がないのです。しかし、少しずつですが、私の中で、そして周りで、何かが大きく、ふくらんでいるような気がします。それが、“信頼”という言葉で表わされれば、すばらしいのですが。

さて、私の職場は、自治体病院として、日夜、忙しく、地域医療に従事しています。私も汗を流し、切り傷をつくりながら、ミクロトームと闘い、又、一日中、顕微鏡をのぞいては、細胞の顔つきの良し悪しをチェックし、難症例に出会うと、根が暗く、憂うつになってしまいますが、診断の有力な手助けとなった時など、これまでの苦勞がどこかへ飛んでいってしまう思いです。

また、仕事の合間を見つけては、せせせと山歩きを続けています。日本有数の山々が、近くにそびえているという地の利を得て、ハイキングに、縦走に出掛けます。ややもすれば、時に流されてしまいがちな日々、果てしなく広がる青い空、まばゆいばかりに輝く緑の木立、小さく可憐な草花、抱かれるような大地、きびしく、けわしい山、そんな大自然は、心を和ませ、自分を取り戻させてくれます。山は心の恋人とでもいいでしょうか。

ところで、去年は名古屋での全国学会のお手伝いをしたにもかかわらず、皆様にお会いできなかったことが残念でした。また、こちらに来られた際には、お立ち寄り下さい。皆様にお会いできることを楽しみにしています。

最後に、皆様のご健康とご活躍をお祈りして、ペンを置かせていただきます。

(1985. 5. 7)

再確認  
“川崎卒”の重み

第4期生 原田 典子(旧姓 藤田)

新緑がまぶしく、風が優しい一年中でいちばん素敵な季節がやって来ましたが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

川崎を卒業して6年、川崎医大附属病院を退職して4年、徳島の個人病院を結婚のため退職して2年、そして今やバリバリの専業主婦の私に、早くも原稿が回って来るなんて、何かのまちがいではないでしょうか。他に、検査の第一線で活躍されている現役の方が、たくさんいらっしゃるだろうにと思ったのですが、こんな奴もいたなあと少しでも思い出していただければと、書かせていただくことにしました。

私が家庭に入って1年半くらい過ぎたころ毎日の単調な生活に、何だか世間からとり残されていくようなあせりを感じ始め、また仕事をしようと思いつき、問い合わせしてみました。すると高松市内の総合病院に臨時ですが検査技師がほしいとのことで、面接に行くことにしました。でも約2年のブランクがあるし、その前は、小さな個人病院だったし、少し不安を感じながら部長さんや、技師さんにお会いしました。ところがお会いした途端、部長さんは、「川崎卒なら是非」とおっしゃって下さるので私が「でもブランクがありますし……」と言うと、「いやいや、佐々木先生の育てた学生なら大丈夫です」と言われるのです。私は、今さらながらに「川崎卒」の重みをずしりと感じ、誇りに思うやら、緊張するやらの面接でした。残念ながら勤めることにはなりませんでしたが(子供ができてしまった!)学生時代や川崎医大勤務の時には、あまり感じなかった「川崎卒」の重みを今、再確認した思いでした。「川崎卒」を背負って、仕事に励んでいる皆さん、頑張ってください。私も何時になるかわからないけれど(使ってくれる場所があれば)もう一度頑張ってみたくと思っています。

(1985. 4. 30)

覚えてますか  
白金耳の焼き方

川崎医科大学附属病院  
第4期生 瀬島 知子(旧姓 樋本)

降ればやみ、やんでは降るといふ梅雨の季節——この時期に培地作りを経験された方は、泣かされたことでしょうか。私は川崎医大・中検微生物検査室に勤務してもう7年目に突入。主婦になり、母となった今も辞めずがらんばっています。

さて、皆さん当検査室の事覚えてますか?今回は私が就職してからの当検査室の変貌を御紹介致しましょう。スタッフは黒川さん(一児の父親になりました。)以下6名。変わったといえば、指先を黒く染めながらのステールワール法からレパー“ボン”の嫌気培養(ANAERO-BOX)ペン胼ができるくらい書いてた報告からコンピュータによるデータ処理ぐらいで、他部署に比べればまだまだ自動化ならずマニュアルが主です。簡易同定キットのルチン化も考えていますが、何分検体数が多く、足踏み状態です。10余年振りにオートクレーブ、乾熱滅菌器、顕微鏡、秤、冷凍冷蔵庫の交換、安全キャビネット(バイオハザード)導入。近々、培地分注器、蛍光顕微鏡も変わる予定です。又、短大2年生の実習もどうすれば細菌を好きになり国試で良い点を取ってもらえるか?検討した結果、man to man とまではいきませんが、両隣りに学生を座らせ指導しています。(このようにしてから松本さんの顔が今まで以上に明るくなりました。)疑問点をその場ですぐ理解してもらったり、最低限修得してもらわなければならない無菌操作法を目を皿のようにして見るためです。しかしながら実際は日常業務が忙しく、学生に少し遠慮があるようです。(皆さんも経験あることでしょう。)

機器は新しく生まれ変わりましたが、サウナのような暑さ、生ゴミも負けるあの臭いは学生時代を懐しく思い出させると思います。当病院お越しの節は、ぜひ中検“奥の院”まで足をお運び下さい。

4期生の皆さん、11月の同窓会で会えるのを楽しみにしております。

(1985. 6)

### 体にいいこと してますか？

倉敷中央病院  
第5期生 宇野 二郎

皆さんお元気ですか。私は、倉敷中央病院の生化学検査室で肝機能検査を担当し、もう5年が過ぎました。PIPETTSに載せるほどの話題がないのが、近況であります。変わったことと言えば、この5年間で体重が10kg増えたことです。このままではいけないと思い、最近ではテニス、バドミントン等のスポーツをして、汗を流しています。皆さんは、体にいいことしてますか？

近年、検査も自動化が進み、ドライケミストリーの技術も進歩して、化学検査に導入されるようになりました。今年の11月には、倉敷で中国四国臨床衛生検査学会が開催されますので、多数の参加をお願い致します。

いろんな面でお互いに頑張りましょう。

〈おわり〉  
(1985. 5. 2)



### ああ…… 原稿が書けない

川崎医科大学附属病院  
第5期生 西村 昌弘

突然 メ切前に渡された原稿用紙、何時間にも関わらず一向に進まず、周りからもう二枚目ですかと言われ、まだ一枚目だと言って怒りながら書いているこの原稿。年1回の発行なので次の投稿チャンスは、何年先になるのか分からないので、それなりの事を書きたいのですが、独り身のため、子供がおねしょをしたとか、女房が喧嘩をして、実家に帰ったままもどってこないなどと、まったく書くことがありません。そうでなくても考える事は、沢山あるのです。結婚されている先輩、後輩の方々、この悩みを聞いてください。どうすれば一日も早く結婚できるのでしょうか。

三嶋さんが教えてくれました。『結婚なんて切っ掛けよ。』（ちなみに三嶋さん、昨年の投稿時には、結納が入っていたそうです。）またある同僚は、『結婚なんて、既成事実を作れば……』と教えてくれました。本人は真剣に考え悩んでいるのですが、周りから早く結婚しなさいとはやし立てられる毎日なのです。このように悩みの絶えない27歳、原稿なんか書いている場合だろうかと思いつつ、原稿が書けない書くことがないと数時間が過ぎました。

今、編集員の本広君が、原稿を受け取りに来ました。2年後だったら原稿用紙2枚でも3枚でも、子供が歩いたとか、女房の実家から梨を送ってきたとか、1杯書けるから今回は、短いですが、すみませんと言って原稿をわたします。

それでは、皆さんお元気で。  
(1985. 6)

### ノンフィクション

香川県立中央病院  
第6期生 山下 和良

「おーい真美子、このあいだ川崎から送ってきた Pipetts の原稿依頼の紙、どこへおいたん。」

「あれー、あれはもうとっくにほおったでー。」

「あほじゃのー。あれいるんじゃがー。きのう電話があつてのー、もうとっくに締め切りすんどるけん、早よ送ってくれやと。」

「そんなんわたし書かんでえ。なんで夫婦でや書くんあ。かっこ悪い。書くんやったらおとうさんだけ書きなー。」

「そんなこと言うたって、わしは6期生、おまえは5期生じゃが。2人別々に紙送ってきとるがでえ。みんな頼んだ人はちゃんと書いて送ってくれとる言よったぞ。」

「もうー、そやん言うだけやがなー。すぐだまかされるんやけん。」

「明花莉のことでも書いたらええがー。わしに似て美人やーゆうて。」

「おとうさん書きなー。」

「わしゃ知らんでえー。おまえ電話しとけよー。」

— ☆ — ☆ — ☆ — ☆

みなさん、お元気ですか？ 私も卒業して早や4年、長女“明花莉”も5月で満1才になりました。ヨチヨチ歩いてほんとにかわいいもんですよ。香川においでの際は、是非お立寄り下さい。

(1985. 6)



### 新しい人生を スタートして

財団法人放射線影響研究所  
第6期生 水野 睦美(旧姓 猪平)

朝6時に起床し、2人分のお弁当をつくる事から私の1日は始まります。3月に、とうとう結婚して7年間暮らした岡山を離れ、広島市と合併したばかりの五日市で新生活を始めました。4月下旬から市内の比治山にあります放射線影響研究所(元 ABCC)の臨床検査部に勤務しています。4年間過ごした、川大附属病院の病院病理部とは、専門分野も職場の雰囲気も全く違った所に就職し少々息を覚えています。放射線影響研究所という言葉は耳慣れないことと思いますが、ここは米国と我国の厚生省との協同出資で経営されている被爆者とその家族を中心とした追跡調査機関です。ここでの患者さんというのは、毎日のスケジュールに組み入れられている20数名の検診をうける方々だけです。さらに、私達は検査をさせていただいている立場ですから、夕方しか来れない人達の為に週に1回13:00~21:00という変則勤務があります。これが先ず今までの病院との大きな違いでした。私は現在生化学検査室に配属されていますが、検査はほとんどマニュアルで行われており、かなり古い機械も残っています。検査室は平均年齢が高く、50代の人々が3/4を占めています。就職した当初は親子はほとんど年齢の違う先輩技師の方々と何を話せばよいのか途方に暮れていましたが、1ヶ月たった今では、仕事のことでなく新米主婦として様々なことを、教えていただいています。毎日、慣れない仕事と、1時間かかる通勤、主婦業でかなり疲れ、贅沢に時間を使うことのできた独身時代がなつかしく思われる時もありますが、当分は家庭と仕事の両立をめざして頑張ってみようと自分自身に言い聞かせています。

近況報告になってしまいましたが、又の再会を楽しみに、思い出の岡山の地へ、そして全国に散らばっている同窓生の皆さんに思いを馳せながらペンを置きます。

(1985. 5. 25)

## ナカさん、おめでとう!

シノノギ製薬(株)  
第7期生 八木 永

同窓生の皆様、お元気ですか。たいへん御無沙汰しています。楽しい毎日をお過ごしですか。私たち7期生が卒業して早3年。なんとも、第10期生の方が卒業されたのですね。私も年を取るはずです。今だ、変化のない毎日です。

ところで、春も盛りの今日このごろ。先日私は、同期の友達の披露宴に、出席させていただきました。まだまだ、と油断していたら、先を越されてしまいました。御存じの方も多と思います。7期生、竹中さんと、川大病理部の鐵原さん、おめでとうございます。たいへんお世話になった病理の方々にもお会いでき、感激でした。

披露宴後、旅立つ御2人のおまけで、皆様におみおくりしていただき、大阪へ帰って来ました。新大阪に着いて、鐵原さんの先導でどうゆうわけか、いっしょに、大型タクシーに乗りこみ、プラザホテル(お2人の宿泊先)まで、ついて行ってしまいました。鐵原さんの学生時代のお友達や、弟さん、全員で8人。これでは、まるで会社の慰安旅行のように見えたと思います。私たちも、なんか変だな、と思いながらも、かなしばりにあった感じについて行ってしまったのです。鐵原さんらしい友達に対する心づかい(?)と楽しい人柄が感じられ、今思い出しても顔が綻んでしまいます。この日の鐵原さんは、何を言っても、怒らず、ずっと顔がたるみっぱなしで幸せを顔で表現されてました。どうぞ、末永く、お幸せに。

今、結婚の波は、7期生にもやって来たようです。私は、波に乗りきれないのですが、大阪には、心づよい友達がいますので、まだまだ、楽しい独身生活(?)を送れそうです。

それでは、本日は、このへんで。

鐵原さん、ナカさん、許可なく話題にいたしましたことを、お許し下さい。

(1985. 5. 11)

## 卒業して4年目

岡山市医師会臨床検査センター  
第7期生 山本 英輝

7期生の皆さまお元気でしょうか。私も今、岡山市の医師会臨床検査センターで頑張っております。卒業して4年目、同期の皆さんもそろそろ各職場で中心的な立場になり、それなりに苦勞の多い毎日を送っているのではないのでしょうか。同じ職場で3年も勤めていると、仕事も一応一通りのことは覚え、少々マンネリ化し、その職場の雰囲気にも染まってしまう、ある時ふとそんな自分にいや気がして、何か新しい刺激をほしがっている頃ではないかと思えます。私も一皮むいで、さらに大きく脱皮をはかろうと思っ

ているのですがなかなか情性に流されて思うようにはいかず、悪戦苦闘しております。私の勤めています医師会臨床検査センターは、岡山市のほぼ中心、衛生会館の2階にあります。すぐ前には旭川が流れており、春になると、桜が咲き、毎年ここで花見をしております。窓からは、後樂園、岡山城が見え、毎日5時を過ぎるころからは旭川の川原にアベックの姿も見えます。このような所で毎日仕事をしていると、のんびりしている自分がありますのんびりしてくるのではないかと思っ

ています。7期生の中にもちらほら、結婚の話がこちらまで聞こえて来ていますが、私も4月に結婚をし、今やっとおちついてきたところです。家庭を持つと色々しなければならぬことがあり、忙しい毎日を送っています。といいながら結婚してから約2ヶ月で、3kgも太ってしまいました。結婚すると男は太るというのはほんとうですね。県外に出られた方、岡山に来られた時はぜひ寄って下さい。岡山にいる方も遊びに来て下さい。お待ちしております。

(1985. 6)

## 「BASICってなに!？」

近畿大学医学部附属病院  
第8期生 仲野 弘美

前略、とうとう幸福の手紙が舞い込んできてしまいました。こんな原稿依頼が来るような年になったかと思ひ、今つくづく感慨にふけております。

まず、人並みに近況報告させていただきます。現在、小生は、大阪の片田舎、南河内郡狹山町というところにある近畿大学医学部附属病院で、細々と検査技師をやっています。どんな田舎かというと、川大の環境を思い描いていただき、その所々に「まむしに注意。」の立て看板をたてただけならば、もう、そのものの風景になります。川大出身者は、5期の久保さん、6期の三谷さん(5月25日からは中江夫人になりました)、7期の和瀬田さん、9期の岡さん、10期の杉本さん、そして私と、6人もそろってますので、まあ一度、おいで下さいませ。

今、私は、浮いた話ひとつなく、8bitコンピューターX1とともに、地味な日々を過ごしています。学生の頃、情報科学の成績が欠点すれすれであった私からは、とても想像できない生活です。というのも、当検では今やっ、コンピューターによるシステム化が始まり、BASICがわからないと、どうしようもない状況であるので、家でもパソコン遊びに興じている次第です。

ちなみに私、独身です。同窓会の皆さま、良い縁談がありましたら、よろしく願い申し上げます。

## 独身生活にサヨナラする時

赤磐郡医師会病院  
第8期生 花沢やす江(旧姓 大岩)

PIPETTS読者のみなさんこんにちは。八期生のみなさんお元気ですか?

私がこの様な形で、みなさんの前に登場するとは、思ってもみませんでした。

私、この三月に姓が変わりました。なんとか無事に……。彼から、プロポーズらしき言葉を受けた時、正直云って躊躇しました。

女性ならば当然憧れる「結婚」。に、どうして私は躊躇を感じたのか、今では不思議なのだけれど、その時はきつと「独身でなくなる。」という事がちょっぴり残念だったのだと思います。人間として、女として、独身時代にやりたい事をまだ残している様な気がして……。

悩みました、私は……。最後には自分が何を考えてるのかわからなくなったりして……。でも彼に「結婚したらこんな事もやろう、二人であんな事もやってみよう……ってそういう風には思えないのか。」と云われた時は、はっと思いました。結婚後、妻として主婦とし

て、犠牲になる事しか考えてなかったのですから……。

そうして話が決まってからもいろいろたいへんでした。まわりの人は今が一番良い時だね……って云ってくれたけど、本人はピンとこないし、今までの様にいい顔ばかりしてられない。どんなに好きでも、それだけではどうにもならない事を痛感していたから……。

しかし、両親の感涙、皆の祝福を受けながら無事に式、披露宴を終えると、なんとなく実感がわいてきて、不思議とすごく自然な気がしました。そして、私は憧れの南十字星に永遠の愛を誓いました。あの日から一ヶ月余り、毎日とてもHappyで、一年前、悩んだ事が嘘の様です。いつも自分の事を想ってくれる相手がいるのは最高。

結婚する前って、こんなにも躊躇するものなのでしょうか。これから結婚される方、きっと様々な想いでこの時を迎えられることではうね。

## 只今恋愛中!?

川崎医大附属病院  
第8期生 佐野多郁子

どーも皆さんコンバンハ。(今は夜です。)病院を退職してはや4年。姓も変わり、背が高くカッコよく、やさしいダンナ様としあわせな毎日を過ごしています。秋には二世が誕生する予定です……と書くはずだった。

ところがきょうの午後1時半、「ゆっくん。」こと河口豊氏が、まじめに働いていた私の傍らにやってきて、「原稿書いて。」と。「へ?なんで」と思いつつ、心やさしい私はことわりきれずひき受けてしまった。「で、期限はいつまで?」「今週中!」ぬあにー!確かきょうは木曜日。今週の土曜日は私は半休だ。とする。今晚しかないじゃあないか。明日は当直のトレーニングだし。そういえば川崎に残った8期の女性の間では、『当直するまでには辞めているだろうな?』なんてことを云っていたけれど、実行した人は16人中わずか2人。残る14人は、めでたく当直に突入!

就職してもう3年目をむかえようとしているなんて。思えばこの2年間よく働いたなあ。昨年の終わりにちょっと休業したけれど、ずっと無遅刻・無欠勤の模範職員を演じてきました。ひたすら仕事一筋。でも、社内恋愛ならぬ院内恋愛も人目をばからず堂々とできました。1年目一彼はとてもお固いコンピューター・NOVAとCRT。一度気分をそこねるとなかなか許してもらえませんでした。次の彼はGlucose Analyzer。期間は短かったけれどとても仲良く過ごしました。そして昨年の3月からはずっと日立726とおつきあいしていました。ところが私が入院したため、彼が心変わり。今年3月で破局を向え、今は蛋白分画自動分析装置cosmoとおつきあいしていますが、とても気分屋で困っています。特に雨のむし暑い日は気嫌が悪く、いつも大喧嘩。……どうして相手が機械ばかりなんだろう。でも、今に私も松田聖子みたいに、しぶいおじさんと「電撃結婚!!」。……何年先になるのかなァ。



## ミナサマ、 オゲンキデスカ

虎の門病院  
第9期生 三宅みどり

私の好きなもの—近藤真彦、さんまちゃん、欲しいもの—カルチェの3連リング9号、必要なもの—静かで広い仕事場。…ミナサマ、オゲンキデスカ?おひさしぶりです、9期生のミナサマ。1~8期生のミナサマ、そーそー10期生のミナサマ。やっとなんか早くもと言うか、とにかく“社会”に出て一年がたちました。働き出した時の気持ち、持ち続けてますか?ちょっ—と無理ですよ、え、ミナサマ。今、我が病院は大変なんです。工事現場で仕事してるの。ホコリ、振動、騒音、冬は外と同じ状態。そりゃーそりゃーたまりません。機械をせおって移動をくり返してますが、新しい検査室はせまいんですよ、ほんまに。あっそーだ、私、今年も新人なんです。つまり新しい子が化学に來なんだ)ひょっとしたらもう何年間もかも知れんけど。

さて、私、花のお江戸で遊びぬいたと思っでらっしゃるミナサマ、予定は未定でございました。予定の半分弱くらいでしたネ。が!3月下旬、ついに!ひとり暮らしをはじめました。それまでは寮でしたが(これがま〜、絵にもかけなきゃ字にもしたくないというひどいシロモノ。短大寮は天国でっせー)今は新築のアパートです。お金はないけど、バリバリ快適な生活してます。今年はこの調子であと半分遊ばなきゃ!そーいやー9期ではトモコとキクちゃんいっしょになったとか。オメデトさんです。私はまだまだひとりの生活を楽しみたいですワ。はい。…と、まったくバラバラな話ばかりになりましたが、今頭がパーブー—なんでお許し下さいませ。それじゃミナサマ、東京にいらっしゃる時には老(?)若男女問いませんで、ゼヒゼヒ御連絡下さい。あっ堀辺さんの話を忘れてしまった!元気ががんばってます。では、虎の門病院工事現場より実況を終らせていただきます。

PS. アカぬけなくてゴメン!

(1985. 5. 4)

## 帆を揚げて

高知医大附属病院  
第9期生 小松 百合

二期作で知られる高知平野には、早くも水田風景が広がる今日この頃ですが、皆さん御変わりごさいませんでしょうか。

さて、我が検査部では、花の(?)独身男性の方々は、夕方ともなると連れだって食堂へ向い、”さあ、もう少し頑張るぞ!!”ってな調子で夜遅くまで仕事に精を出しておりますが、5年目の今、その人数が1人減り、2人減り、それと反比例してお昼には愛妻弁当を片手に(中には未来の愛妻弁当の方も…)嬉しそうに控室に入って来る人が増えて、AT HOME な雰囲気広がりがつあります。私自身、血清を担当して2年目。多い時には180件に近い検体でCRPを始めとする26項目を2人で担当する毎日です。そんな中で、目ざましく未知の分野が開拓されて行く免疫学を目のあたりにしながらも、一朝一夕には自動化できない抗原抗体反応の壁に無言の圧力を感じております。しかし、勝負はこれから。一年目が終わり出帆の準備は整いました。二年目の今、帆を揚げて大海原にこぎ出しました。待ち受けるのは嵐の海か…穏やかな海か…くつろげる港をめざして、さあ出帆です!!もし、SOSをキャッチされた時は、皆さんよろしくお願い致します。

では最後に、キラキラ輝く皆さんと秋に再会できる事を楽しみにして、ペンを置きます。

チーム名に忠実な(?)エラーズメンバーと一緒に… (写真P.3)

(1985. 4. 29)



## 「言いたい放題」

備前市民病院  
第10期生 門田 渉

端午の節句を迎え、若葉の緑もすがすがしく、茅巻食べ食べ兄ちゃんが…などと唄っている内にふと空を見ると梅雨晴れといった季節に早やなろうとしつつある今日この頃、諸先輩、並びに同期生の皆様、お褒りありませんか。平素はご無沙汰致しておりますので、ごきげんいかがかと伺い申し上げます。

さて、現在私の勤務する病院は技師数7名の少人数の為、なかなか人間関係も難しそうで、私の様な臆病者にとりまして、新人と言う立場上、どうしても「コウモリ」と俗世間が呼んでいる様な二重人格者の傾向が無意識のうちに形造られて行く様な思いです。いわゆる公務員の欠点である競争意識と言うものが失われつつあるのではないかとも思います。現在の仕事は、まだ見習い期間中ですので、それぞれの部署を空気の如く人知れず動き回っております。幸か不幸か新人は私一人、技師の方々は皆、家庭を持たれておりますので、当直、呼出し等のいやな予感が付きまとう今日この頃です。

また病院関係者の年齢層は非常に高く、高齢化社会を一足早く経験してしまったと思われるくらいで、平均年齢は昭和60年5月、私の調べによりますと40才を超えたと推定されます。これでは底底、ラブロマンスなど望めよう筈もございません。しかし、この集団の中でもまれれば、私の様な醜い家鴨の子でも…と思える程、人生の勉強にはなっていると思えます。

とにかく今は、早く「型を知って型を破る。型知らずして、型破れぬ」の精神で頑張る所存であります。

最後になりましたが、私の様な半人前にもならぬヒヨコが言いたい放題の事を書き綴りました事を心からお詫び申し上げますと共に今後共御指導の程、よろしく申し上げます。

(1985. 5. 16)

## 私の近況

雪の聖母会聖マリア病院  
第10期生 佐藤 悦子

みなさん、お元気ですか。10期でただ一人九州に渡ってしまった私、毎日が気分の浮き沈みの激しい中、楽しく働いています。社会人になった日から大人の女性をめざし、ひたむきに仕事に情熱を燃やそうと思っていましたが、1か月経った今、すでに学生の頃とあまり変わらぬイメージが定着してしまって、落ち着きのある女性とはかけはなれたみたいで

す。久留米市にある“雪の聖母会聖マリア病院”に就職しましたが、川崎出身は私が初めてで、私を通して川崎を見られている気がして、やる気十分でしたが実際、川崎の実習を経てきたことは大きな自信でした。卒業して初めてあのごさったカリキュラムに感謝しました。この病院では規模も大きいだけに知識も身につくし、何より人間関係がすばらしいです。全ての方が思いやりある職場作りをされていて、本当に感動してしまいます。

この病院で変わってるのは技師でも、準夜、深夜があることです。男性は当直制で32時間労働で大変ハードです。ちなみに5名ほど独身男性はおられますが、どなたかアタックされませんか。いい方ばかりですよ。検査室が4つと心カテ専門とあるので、検査室内で2夫婦おられますが、検査室が建物ごと違うのでここではうまくいくみたいです。

“のんた”と呼ばれた学生時代、岡山弁で通してきましたが今は久留米弁と岡山弁がごっちゃになってどれがどこの方言かわからなくなりましたが、今だにアクセントがおかしいと指摘されますし、難聴も治りません。

仕事を始めて、つくづく責任の重さを感じますが、頼れないし放棄できないということは、学生時代と比較して大きな違いです。食欲だけはすごい絶好調で困ってしまいますが、白衣を脱いだら気分一掃、楽しく生活することが今は一番ですね。では暇があったらいつでも久留米へ遊びに来て下さいね!待ってます。

(1985. 5. 14)

<短大より>

卒業生の皆様、日夜、仕事にあるいは家事に精を出して、お元気でお過ごしのことと思います。

新卒業生の就職も年々きびしさを増しており皆様の協力無くして、卒業時の100%就職は不可能になりつつあります。そこで、この紙上をおかりして、去年に引き続き、昭和61年3月卒業予定の第11期生（担任：下田先生、副担任：福永先生）の氏名と出身地をのせることにしました。もし皆様方の近くの職場で人を捜している所がありましたら、情報をお寄せ下さる様お願い致します。

臨床検査科の近況

- ① 第10期生（50名）が卒業しました。  
これで卒業生総数は449名（2名死亡）となりました。
- ② 中尾文子先生（旧性鎌田）が3月で退職されました。
- ③ 4月に臨床検査科13期生（66名）が入学し、担任は三戸恵一郎先生です。
- ④ 4月より山本誠一先生が第2学年（12期生）の副担任になりました。
- ⑤ 6月より中検の月岡技師が短大に出向してこられます。（昭和61年3月31日まで）
- ⑥ 新学科増設（医用電子技術科）の準備が着実に進められております。



(1985年5月)  
川崎医療短期大学臨床検査科  
一期生 小郷正則

<同窓会より>

- 1 前回、御案内しました臨床検査科合同同窓会を下記の案内のとおり開く予定ですので、ふるって御参加下さい。夫婦、子供連れで結構です。
- 2 同窓会アンケートに御協力いただき、ありがとうございますました。
- 3 同窓会支部の役員を、10期生の入会などに伴い、変更しましたので報告します。
- 4 同窓会名簿を新しく整理しましたので、御利用の方は同窓会までお申し出下さい。
- 5 PIPETTSの原稿を募集しております。  
御意見、御感想をお寄せ下さい。  
また、転職・結婚された方はどうか挨拶状を送って下さい。

一宛て先—  
〒701-01  
岡山県倉敷市松島316  
川崎医療短期大学臨床検査科  
小郷正則 行

○各期卒業生の代表者

- 1期生：上田健太郎 小郷 正則
- 2期生：米山彼呂紀 三宅 康之
- 3期生：小島 健次 末森 一恵
- 4期生：高松 邦樹 山本 明美
- 5期生：本廣 里次 三嶋 啓子
- 6期生：河口 勝憲 亀田 匠枝
- 7期生：橋本 典子 泉 礼司
- 8期生：河口 豊 吉田 恵美
- 9期生：紙名かをり 岡本 年生
- 10期生：尾上 宗光 福島 早苗
- 支部長：平井 紀之（2期生）

同窓会支部連絡先  
小郷正則 勤務先 ☎(0864) 62-1111  
内線 3037  
自宅 ☎(0864) 62-2827

○会計報告

臨床検査科同窓会会計報告

自 昭和59年2月 至 昭和60年1月  
(決算)

取 入	金 額 (円)	支 出	金 額 (円)
前期繰越金	184,707	卒業祝い金	30,000
短大同窓会援助金	75,000	PIPETTS出版費	129,000
9期生入会金	92,000	通 信 費	76,080
PIPETTS協力会(山口技師長より)	40,000	印 判 代	8,120
		雑 費 (原稿用紙etc)	7,443
		次期繰越金	141,064
合 計	391,707	合 計	391,707

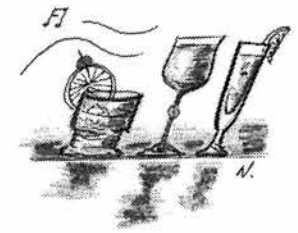
自 昭和60年2月 至 昭和61年1月  
(予算案)

取 入	金 額 (円)	支 出	金 額 (円)
前期繰越金	141,064	PIPETTS出版費	150,000
10期生入会金	100,000	卒業祝い金	30,000
短大同窓会援助金	75,000	通 信 費	80,000
		全体同窓会開催費	50,000
		予 備 費	6,064
合 計	316,064	合 計	316,064

臨床検査科合同同窓会のお知らせ

先に御案内致しましたように、今秋、臨床検査科合同同窓会を下記のとおり開く予定でおります。出席のご返事につきましては、同封の郵便振込みをもってかえさせていただきます。皆様ぜひ御出席下さいますようお願い申し上げます。

- 記
- 1 日 時 昭和60年11月3日（日）19:00より
  - 2 会 場 倉敷アイビースクエア
  - 3 会 費 8000円
  - 4 会費の納入方法
    - 同封の郵便振込み用紙にてお願いいたします。  
(卒業期、氏名を御記入下さい。)
    - 振込期日  
昭和60年9月末日まで
    - なお、出欠はこの振込み用紙におきかえさせていただきます。





## “あなたの住所教えて下さい”

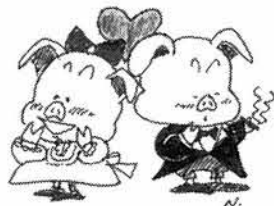


同窓会では、毎年コンピュータに皆様の住所を入力して、卒業生名簿を管理しております。それにもとづいて皆様の所に同窓会からの書類や PIPETTS を配布しています。ところが、住所変更されても同窓会の方に変更となった住所を連絡して下さらない方が多数おられ、郵送した物がこちらに戻って来ることがよくあります。このようなことでは大切な同窓会の資料も皆様にお届けすることができません。

そこで、皆様をお願い致します。

今後、住所が変更するようなことがある場合は、必ず新しい住所を添付したはがきに記入して同窓会まで送って下さい。もし、郵送した物が“御届先不明で配達できません”とこちらに帰って来た場合は、変更届けが本人から送ってこられるまで、同窓会で保管しておくことにしますので、よろしくお願い致します。

## おまけのコーナー



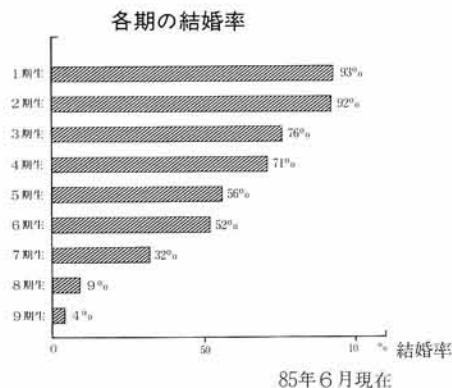
### 「ブライダル特集」

もっとおもしろい結果が出てくるかと思ったら、意外と当り前のデータしか得られなかったもので、ちょっとガックリしたり、やはり齢をとれば余程の事が無い限り、自然と落ち着いてくるものなのかと安堵したりしました。

1, 2期生ともなりますと、ほとんど結婚されていて、代表者に既婚者の人数をお尋ねすると、未婚者を数えたほうが早いという返事が返ってきます。

こうしてみると、25, 27, 29才頃に結婚に踏み切る方が多いように見受けられます。ちなみに私、現在25才。結婚予定無し。ということは、次の結婚の波に乗ろうとするとあと2年待たなければならぬのですよね。それを逃すともう2年……。ちょっと考えるのが恐ろしい。

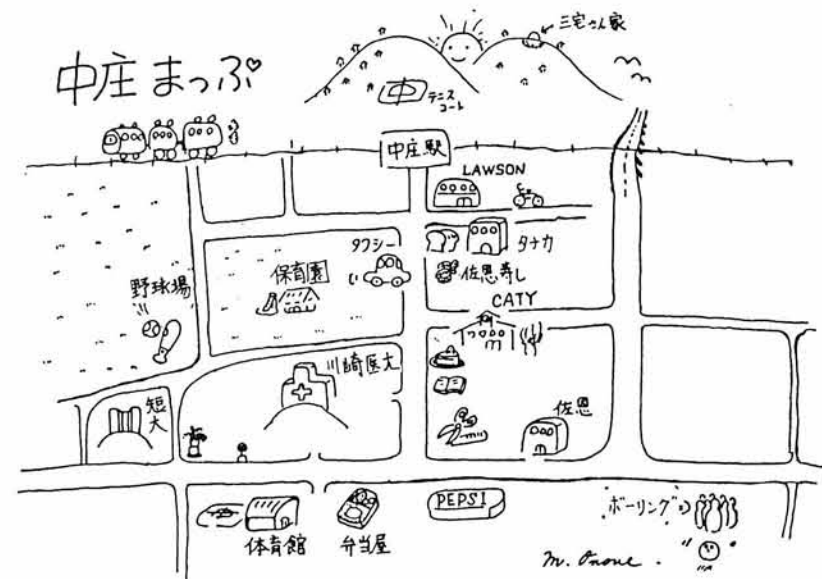
結婚したくない人は別にして、結婚したいけれどまだ残っている人、——残りものには福がある——と昔の人も言っているではありませんか。私もそう自分に言い聞かせてきたのですが、ある人に「残りものは腐っている。」とビシッと言われ、愕然としてしまったことがあります。そんなふうに言われたいよういつもフレッシュでいよう!! と心がけ、自分を磨いていきましょう。(第6期生 亀田)



## 中庄駅伝言板

※1日たっても消えません!

- 1期/上田 おじん、おぼんとなっている1期生の皆さん、身の回りの新情報、珍情報を是非(今年から担当の)上田まで御連絡下さい。  
住所不明、姓不明の方がおりますので早目に!  
P.S. 愛娘「のぞ美」誕生!
- 2期/三宅 2期生の皆さん、お元気ですか? 我々も卒業して10年になります。一度、2期生だけの同窓会をしたいと思います。今から少しずつ貯金して、子連れ、夫(or妻)連れでも結構ですのでふるって参加して下さい。また連絡します。
- 3期/小島 『捜索願』  
河野茂子(旧姓茂城)さんの連絡先が不明のため困っています。お心当りのある人は同窓会本部までお知らせ下さい。
- 4期/高松 4期生の皆さん、私も中検では古い人間になりました。今年の短大入学者は、昭和41年生まれのおかあ〜い人が入学されています。昭和30年代は、もう終わりですよ。
- 5期/本廣 昨年の稲垣さんに続いて、今年の春、石原さんがスリランカへ青年海外協力隊として行きました。
- 6期/亀田 結婚したら、必ず住所変更届を出すこと! ちなみに、当分私は出さなくてもいいようです。皆さん、また会う日まで元気で頑張ってください。
- 7期/泉 花の女性軍元気にやっているよね! 仕事はたくみに早くできるようになったらうけど顔のしわと化粧の時間はもう3倍以上になってしまったかな。男の目をごまかせるのも今のうちガンバレ!!
- 8期/吉田 『八期生のお嬢さま方へ  
あの佐々木加枝にも「妻」と呼ばれる日が来ました。さあ、皆さん、BEST10の残るイスは、4ツしかありません!!』
- 9期/岡本 あの第1号の伊関喜久夫、誠子夫妻の早くも11月には出生の御予定だそうです。みんなでおめでとうを言いたいです。また第2号予定者は高津君だそうです。第3号は……? 皆様の近況をまっています。
- 10期/平尾 拜啓  
ようやく梅雨もあけ、梅の花もちらほらと、小雪の舞い散る今日この頃、皆さん元気で performance していますか? 皆様の近況をお知らせ下さい。 敬具



## アンケート集計報告

昨年皆様にお願ひしました、アンケートの集計が出来ましたのでその一部を報告させていただきます。

### 1. 回答者の人数およびその内訳

1) 回収率：表-1に示すとおり35.5%と我々の期待を裏切る低回収率でした。

表-1 回収率

性別	回答者数(人)	回収率(%)
男性	31/66	47.0
女性	109/331	32.9
合計	140/397	35.3

### 2) 回答者の構成

年齢をみると27才以下が約80%でした。このことより経験年数では5年未満の人が86%と多く、年俸は250万円以下が80%をしめています。

### 3) 回答者の既婚・未婚率

既婚者は約25%でした。このことは、まだ卒業して日が浅いためだと思います。でも、昨年から今年にかけて何やら結婚ラッシュのように伺っているのだぶんもうすこし率が上がっていると思います。

### 2. 回答者の勤務先

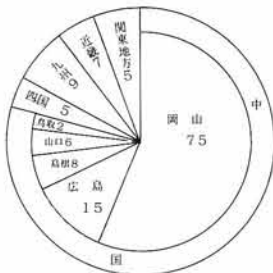
#### 1) 地域別 (図-1)

卒業生の約55%が岡山県内に勤務しています。その内川崎医科大学附属病院にいる人達は表-2に示すとおりです。

表-2 川大勤務各期卒業生数

期生	人数	男女	期生	人数	男女	期生	人数	男女
1	1	1	5	3	1	9	1	12
2	2	1	6	3	4	10	2	11
3	1	1	7	4	8			
4	4	5	8	1	14			

図-1 地域別



### 2) 回答者の勤務先の経営母体等

- ・75%の人が民間の病院で働いている。
- ・85%の人が病院に勤務し、6.6%の人が検査センターで働いています。

### 3) 勤務先のベット数

- ・30%の人が300床未満、80%の人が500床以上の病院で働いています。

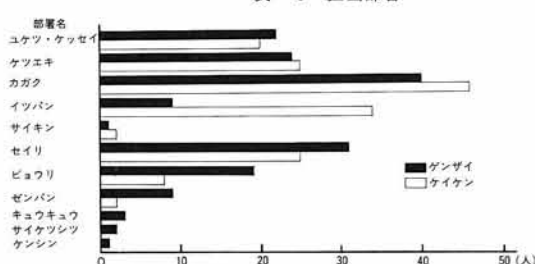
### 4) 勤務先の技師数 (表-3)

表-3 回答者の勤務先の技師数

技師数	人数	%
5以下	16	14.3
6~10	18	16.1
11~20	14	12.5
21~30	13	11.6
31~50	14	12.5
51~90	22	18.8
90以上	16	14.3

### 3. 回答者の担当したことの部署 (表-4)

表-4 担当部署



卒業生の皆様にはこのアンケート調査に御協力いただきありがとうございました。思う程の回収率ではなかったのですが、10年間の卒業生の動向のアウトラインはつかめていると思います。今後の後輩の指導に役立てたいと思います。

最後にこのアンケート集計に際して川崎医科大学検査診断学松田信義助教授および臨床検査科第11期生藤島美佳さん、竹本志君の御協力でコンピューターで処理できたことを深く感謝いたします。

(昭和60年5月)

川崎医療短期大学臨床検査科 小郷正則 山口 司

## 編集部より

### 編集奮闘記'85

若草萌えたつ4月… 第1回めの編集会議。7月発行を目ざし、今年の“PIPETTS”の大まかな計画を練る。

各期2名を選出し、原稿依頼の封書を送る。メ切は、一部で言われる臨検時間をみこして早めにする。

メ切日当日、案の定、2~3通しか届かぬ原稿。

影の編集委員長H嬢は、たてまえ編集委員長Mを呼びつけ、ほれ見ろ!と言わんばかりにムチをふるう。

M氏、各期の代表者のもとへ馬をとばす。(原稿が届かぬ!と催足のため。)

1週間が過ぎ、2週間が過ぎた。しかし、届いた原稿は6割に満たぬ。

またもや、影の編集委員長に呼ばれるM氏。M氏、各期の代表者たちをうらめしげに睨む。“まってくださいませ、おでえかんさまぁ。おらたちも一生懸命やってるだべ…”

まだ原稿が届かぬ期の代表者たちはおろおろするばかり。(最終的に原稿が届かぬ場合には、自分の身が危ない!!)

各地で催足のTELが鳴りひびく。

1カ月後、届けられた原稿は9割に満たず…。自分の期の原稿が揃わないM氏は冷汗たらり…。影が編集スタッフの1人K嬢の顔も青ざめる…。(K嬢の期は一通も原稿が届いていないのだ。)

反対に、原稿が届かぬからとあせり、別の人に頼んだら結局3通になってしまったというドジな期も出てしまう年末。

そんな中での編集会議。

4号めともなると新しい試みを…と思う気持ち強し。

ネェ、こんなはどう!? あっこういうのもいいネ! そんなのつまらないよ!! そうだ、いいこと思いついた!! ダメー? もう頭かたいんだから…! ところで、原稿は全部そろったの? えっ、まだあ~!?…

### 編集部より愛をこめて

ここによく“PIPETTS”第4号ができあがりました。

日本各地で このPIPETTSが届くのを心待ちにしておられた皆さん、おまちどうぞまでした。

簡単に、“へーイ、一丁あがり!”というわけにはいきませんでした。そこは、あの川短での苦難の日々を乗り越えてきたスタッフ一同であります。くじけませんよ、何事も!!

各地にばらばらになってしまった川崎医療短大卒の仲間達をしっかりとつなぎとめ、語り合う場として、この同窓会誌“PIPETTS”が少しでも役に立つことができれば…という思いをこめてお届けします。

原稿依頼を受けられた皆さん、本当にご苦勞様でした。

そして、最後になりましたが、お忙しい中、掲載にご協力下さった山口司先生、徳永達文先生、ならびに佐藤彰一先生に深く感謝の意を表し、ペンを置きます。

編集委員 三宅 康之 (2期生)

亀田 匠枝 (6期生)

橋本 典子 (7期生)

河口 豊 (8期生)

尾上 宗光 (10期生)

協力 小郷 正則 (1期生)

レイアウト 橋本 典子 (7期生)



1985年8月1日 発行

編集発行 川崎医療短期大学同窓会（松丘会）  
臨床検査科支部  
〒701-01 倉敷市松島316番地

印刷 西日本法規出版株式会社  
〒700 岡山市高柳西町1-23

**PIPETTS**  
Vol. 4